

| | | | | | | | |
|---------|------------------------------------|----|----|------|--|-----|---|
| 学年 | 高校1年 | 教科 | 英語 | 科目 | 論理・表現I | 単位数 | 2 |
| 教科書名 | Vision Quest I Standard (啓林館出版) | | | 副教材名 | Vision Quest I Standard ワークブック (啓林館出版) スクランブル英文法・語法 4th Edition (旺文社出版) | | |
| コース・クラス | スポーツ、芸能 | | | | | | |

1. 目標

英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を養う。

2. 授業のねらい

- 1 与えられた話題について、即興で話す。また、聞き手や目的に応じて簡潔に話す能力を養う。
- 2 読み手や目的に応じて、簡潔に書く能力を養う。
- 3 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどをまとめ、発表する能力を養う。

3. 授業の進め方

- (1) 予習を中心とした授業を展開する。授業において、動画・英字新聞および模擬試験や入試問題を取り扱う。
 - (2) 定期的に小テスト実施し、定着の度合いを図る。
 - (3) 状況に応じて、問題集等の副教材を使用する。
- ### 4. 学習上の留意点
- (1) 教科書、授業用ノート、問題集、問題集用ノートを必ず用意して授業に臨むこと。
 - (2) 定期試験の返却後、間違えた問題を確認し、復習を必ず行うこと。
 - (3) 提出物の期限は必ず守ること。

5. 定期試験

- (1) 教科書と問題集の内容に基づいて出題する。
- (2) 定期試験の範囲（予定）
 - 1学期 中間試験 : 文の種類、文型と動詞、時制
 - 1学期 期末試験 : 完了形、助動詞
 - 2学期 中間試験 : 受動態、不定詞
 - 2学期 期末試験 : 動名詞、分詞、関係詞
 - 3学期 学年末 : 比較、仮定法

6. 評価方法

- (1) 授業中の活動
- (2) 発表
- (3) 課題の提出
- (4) 小テスト・定期試験、小テスト

7. 授業計画

| 学期 | 月 | 単元・学習項目 | 評価方法 | 到達目標 |
|-----|---|----------|---------------------------|--|
| 一学期 | 4 | Lesson 1 | 定期試験 小テスト 発表 提出物 | <p>文法 文の種類：さまざまな疑問文や命令文、感嘆文を適切に作り、それに応答することができる。また、単文、重文、複文の構成を理解し、読み手に伝わりやすく表現することができる。</p> <p>表現 話す[発表]：自分や他者のクラブ活動を紹介できる。</p> <p>書く：趣味や好きな科目について、理由や具体例などを用いて説明できる。</p> |
| | 5 | | | <p>・文と文の論理的関連性をもって文章を書いたり、伝えたりすることができる。</p> |
| | 6 | Lesson 2 | | <p>文法 文型と動詞：5つの文型と There is の構文の注意点を理解し、文を組み立てることができる。また、自動詞と他動詞の使い分けができる。</p> <p>表現 話す[やり取り]：文化祭について話し合うことができる。</p> <p>書く：普段の生活や自分の身の回りにあるものについて、具体例や情報を挙げて説明することができる。</p> |
| | 7 | Lesson 3 | | <p>文法 時制：基本時制の構造と概念を理解し、伝えたいことを適切な時制を用いて、書いたり話したりすることができる。</p> <p>表現 話す[発表]：報道記事（新聞・ネット）もしくは歴史的出来事について詳細に話すことができる。</p> <p>書く：最近見聞きしたことについて、具体的に詳しく書いて伝えることができる。</p> <p>・会話の構造を理解し、論理的な展開やスムーズな流れに焦点をあてて、会話を組み立てることができる。</p> |
| | 7 | Lesson 4 | | <p>文法 完了形：現在・過去・未来完了形の意味と用法を理解し、それぞれの用法を使い分けすることができる。また、共に使える語句を使って、適切に文を作ったり、表現したりすることができる。</p> <p>表現 話す[やり取り]：スポーツや音楽の経験について伝え合うことができる。</p> <p>書く：行ったことがある場所や初めて何かを経験した時のことについて、考えや気持ち、具体例を挙げて、伝えることができる。</p> |
| | | Lesson 5 | | <p>文法 助動詞：助動詞のそれぞれの意味と用法を理解し、適切に使い分けて表現することができる。</p> <p>表現 話す[やり取り]：将来の夢について伝え合うことができる。</p> <p>書く：いつかしてみたいことについて、必要な情報も添えて、考えや気持ちなどを適切な理由や根拠を加えて書いて伝えることができる。</p> |

| | | | | |
|-----|----|-----------|---------------------------|--|
| 一学期 | 9 | Lesson 6 | 定期試験 小テスト 発表 提出物 | <p>・つなぎの言葉やパラグラフの構成（主題文、指示文、結論文）について学び、1つのトピックについてパラグラフを書くことができる。</p> <p>文法 受動態：受動態を用いた様々な文の構造や意味を理解し、必要に応じて使い分け、適切に伝えることができる。</p> <p>表現 話す[やり取り]：話に客観性をもたせ、ソフトな言い方（湾曲表現）を用いて様々な事柄を伝えることができる。</p> <p>書く：お薦めの小説や最近驚いたことについて、情報や考え、気持ちなどを適切に書いて伝えることができる。</p> |
| | 10 | Lesson 7 | | <p>文法 不定詞：不定詞の様々な用法を学び、より詳細な情報を伝えることができる。</p> <p>表現 話す[やり取り]：受け取った贈り物について詳細に伝えることができる。</p> <p>書く：自分の夢、高校生が日常生活で行うべき大切なこと、日常生活でしないように気を付けていることについて、自分の意見や主張などを適切な理由や根拠と共に書いて伝えることができる。</p> |
| | | | | <p>スピーチ スピーチを行う際の手順を学び、与えられたテーマについて即興で発表することができる。</p> <p>プレゼンテーション プレゼンテーションの概要と流れを理解し、原稿と提示する資料を準備することができる。また、事前に十分な練習を行い、具体的な内容を用いてわかりやすく説明することができる。</p> |
| | | Lesson 8 | | <p>文法 動名詞：動名詞の様々な用法を学び、動名詞句を使用した多様な文で伝えることができる。</p> <p>表現 話す[発表]：スポーツをする・観戦することの利点について発表することができる。</p> <p>書く：得意なスポーツや活動、楽しみにしていることについて、情報や具体例を加えて詳細に書いて説明することができる。</p> |
| | 11 | Lesson 9 | | <p>文法 分詞：名詞を修飾する用法や補語になる用法、また分詞構文や付帯状況を表す分詞を用いて表現することができる。</p> <p>表現 話す[発表]：自分自身や自身の性格について発表することができる。</p> <p>書く：家族や友人と撮った写真、もしくは報道写真について、具体例や詳細な情報を加えて文章を書いて伝えることができる。</p> |
| | | | | <p>ディベート ディベートの概念や流れ、判定基準を学び、それぞれの立場で説得力のある意見を述べるができる。</p> |
| | | Lesson 10 | | <p>文法 関係詞：関係詞を用いて複文を作り、語句を限定したり補足説明を加えたりできる。また、複合関係詞を用いて譲歩の意味を表すことができる。</p> <p>表現 話す[発表]：生活様式から芸術までを含むさまざまな文化や人たちについて紹介することができる。</p> <p>書く：家族や友だちの紹介や今あなたに必要なもの、どんな国【市、町】に住みたいかについて、論理の展開を工夫しながら詳細に伝えたり、意見や主張の適切な理由や根拠とともに文章を書いて伝えることができる。</p> |
| | 12 | | | |

| | | | | | |
|-------------|---|-----------|---------------------------|---|---|
| | | | | できる。 | |
| 三 学 期 | 1 | Lesson 11 | 定期試験 小テスト 発表 提出物 | 文法 比較 ：比較に関する様々な用法と表現を理解し、物事の状態を分かりやすく説明することができる。 表現 話す[やり取り] ：国際問題について自分の考えを伝え合うことができる。 書く ：本と映画どちらに興味があるか、また最も幸せなときについて、自分の主張の理由や根拠を加えて、詳しく説明することができる。 | |
| | 2 | | | | |
| | 3 | | | | |
| | | | Lesson 12 | | ディスカッション ディスカッション の手順と役割を理解し、自分の意見と論拠を主張することができる。また、主張には根拠と具体例を加えて説明することができる。 文法 仮定法 ：仮定法を用いて、事実と違うことや実際には起こりえないことを述べることができる。 表現 話す[発表] ：日本の社会問題について自分の意見を発表することができる。 書く ：タイムマシンがあったら過去と未来どちらに行きたいか、また自分や家族に望むことについて、意見や主張の理由や根拠を具体的に示して、伝えることができる。 |

※ シラバスの内容（時間や事項）については、理解度やその他の都合により変更することもあります。